

平成26年全国消費実態調査

～家計収支及び貯蓄・負債に関する結果概要（石川県）～

目 次

I 二人以上の世帯

家計収支に関する結果

1 二人以上の世帯の支出

(1) 概況	1
(2) 世帯主の年齢階級	2

2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の収入と支出

(1) 概況	3
(2) 世帯主の年齢階級	4

3 購入行動の形態別にみた支出

(1) 品目別にみた特徴	5
(2) 購入先	6

貯蓄・負債に関する結果

4 貯蓄

(1) 概況	7
(2) 貯蓄の種類	7
(3) 世帯主の年齢階級	8

5 負債

(1) 概況	9
(2) 世帯主の年齢階級	10

II 単身世帯

I 二人以上の世帯

家計収支に関する結果

1 二人以上の世帯の支出

(1) 概況

1 世帯当たりの消費支出は、前回（平成 21 年）に比べ 1.2%の減少、全国 10 位

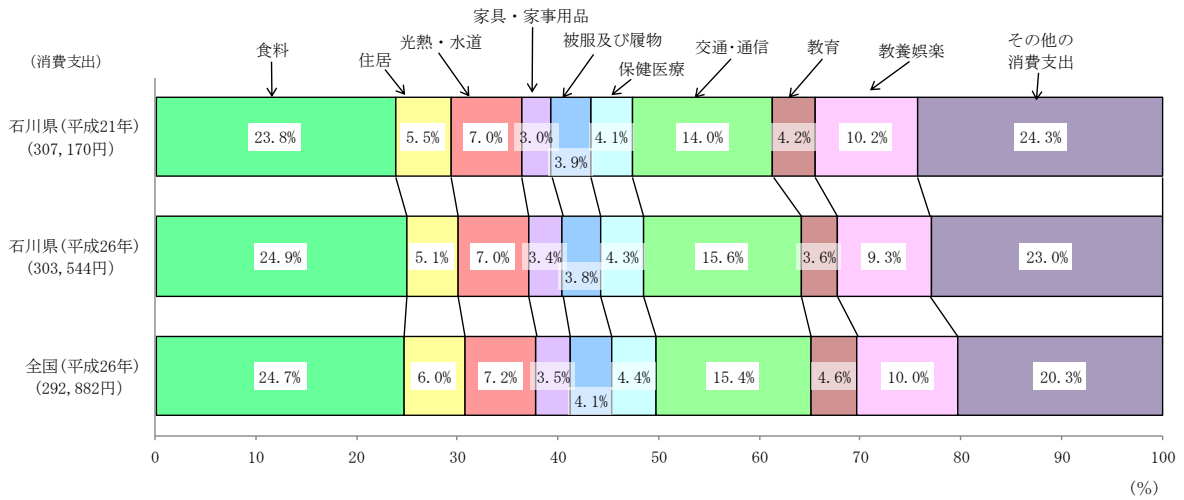
- ・二人以上の世帯の平成 26 年 9 月～11 月の 1 か月平均（以下、「1 か月平均」という。）消費支出は、1 世帯当たり 303,544 円で、平成 21 年の 307,170 円と比べると、1.2%減少した。
- ・消費支出は、全国平均(292,882 円)を上回り、全国 10 位となっている。
- ・消費支出に占める費目別購入割合をみると、「食料」(24.9%)、交際費などの「その他の消費支出」(23.0%)、「交通・通信」(15.6%)が高くなっている。
- ・費目別割合を平成 21 年と比較すると、「食料」、「交通・通信」などが上昇しており、一方で、「その他の消費支出」などが低下している（表 I-1、図 I-1 参照）。

表 I-1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項目	石 川 県							全 国	
	平成21年		26年			増減率 上昇・低下幅		26年	
	実数	構成比	実数	構成比	実数 全国順位	実数	構成比 (ポイント)	金額	構成比
世帯主の平均年齢（歳）	55.3	—	56.8	—	—	(1.5)	—	57.3	—
平均世帯人員（人）	3.25	—	3.13	—	—	(0.05)	—	3.03	—
消費支出	307,170円	100.0%	303,544円	100.0%	10位	-1.2%	—	292,882円	100.0%
食 料	73,188円	23.8%	75,635円	24.9%	4位	3.3%	1.1	72,280円	24.7%
うち調理食品	8,217円	2.7%	9,312円	3.1%	12位	13.3%	0.4	8,983円	3.1%
うち外食	11,860円	3.9%	13,140円	4.3%	7位	10.8%	0.4	12,753円	4.4%
住 居	16,781円	5.5%	15,487円	5.1%	22位	-7.7%	-0.4	17,660円	6.0%
光熱・水道	21,566円	7.0%	21,130円	7.0%	22位	-2.0%	0.0	20,967円	7.2%
うち電気代	9,769円	3.2%	10,302円	3.4%	27位	5.5%	0.2	10,198円	3.5%
家具・家事用品	9,294円	3.0%	10,263円	3.4%	25位	10.4%	0.4	10,136円	3.5%
被服及び履物	11,944円	3.9%	11,407円	3.8%	18位	-4.5%	-0.1	11,864円	4.1%
保健医療	12,634円	4.1%	13,066円	4.3%	13位	3.4%	0.2	12,907円	4.4%
交通・通信	43,012円	14.0%	47,404円	15.6%	17位	10.2%	1.6	45,136円	15.4%
交通	3,551円	1.2%	3,237円	1.1%	41位	-8.8%	-0.1	6,643円	2.3%
自動車等関係費	25,319円	8.2%	28,517円	9.4%	14位	12.6%	1.2	23,689円	8.1%
通信	14,142円	4.6%	15,650円	5.2%	11位	10.7%	0.6	14,803円	5.1%
教 育	12,938円	4.2%	11,071円	3.6%	20位	-14.4%	-0.6	13,387円	4.6%
教養娯楽	31,258円	10.2%	28,369円	9.3%	17位	-9.2%	-0.9	29,196円	10.0%
その他の消費支出	74,556円	24.3%	69,712円	23.0%	4位	-6.5%	-1.3	59,350円	20.3%
うち交際費	24,482円	8.0%	24,427円	8.0%	1位	-0.2%	0.0	18,445円	6.3%

注 世帯主の平均年齢及び平均世帯人員の（ ）内は、平成21年との差

図 I - 1 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）

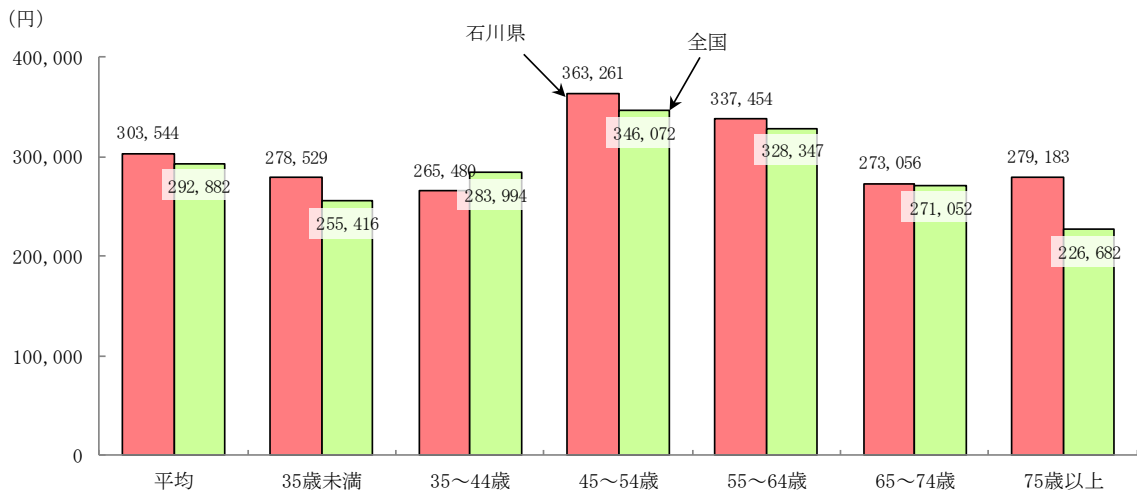


(2) 世帯主の年齢階級

消費支出が最も多いのは、世帯主が45～54歳の世帯

- ・二人以上の世帯の1世帯当たり1か月平均消費支出を世帯主の年齢階級別にみると、世帯主が45～54歳の世帯の363,261円がピークになっている（図I-2参照）。

図 I - 2 世帯主の年齢階級別消費支出（二人以上の世帯）



2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の収入と支出

(1) 概況

勤労者世帯の1世帯当たりの実収入は、全国22位

- ・二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月平均実収入は、1世帯当たり487,139円で、全国平均(484,714円)を上回り、全国22位となっている。
- ・実収入に占める収入の種類別割合をみると、「勤め先収入」は87.7%、うち世帯主の配偶者の収入が全体の17.2%で、その額は全国8位となっている(表I-2、図I-3参照)。

表I-2 家計収支と内訳(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	石川県						全国		
	平成21年		26年			増減率 上昇・低下幅		26年	
	実数	構成比	実数	構成比	実数 全国順位	実数	構成比 (ポイント)	実数	構成比
世帯主の平均年齢(歳)	49.0	—	50.0	—	—	(1.0)	—	48.9	—
平均世帯人員(人)	3.47	—	3.46	—	—	(-0.01)	—	3.33	—
実収入	—	—	487,139円	100.0%	22位	—	—	484,714円	100.0%
勤め先収入	432,810円	—	427,098円	87.7%	19位	-1.3%	—	428,879円	88.5%
うち世帯主の配偶者の収入	79,939円	—	83,993円	17.2%	8位	5.1%	—	60,088円	12.4%
勤め先収入以外※1	—	—	60,041円	12.3%	—	—	—	55,834円	11.5%
非消費支出※2	—	—	82,664円	—	24位	—	—	84,520円	—
可処分所得※3	—	—	404,475円	—	22位	—	—	400,194円	—
消費支出	331,274円	100.0%	322,978円	100.0%	9位	-2.5%	—	313,747円	100.0%
食料	73,242円	22.1%	78,794円	24.4%	3位	7.6%	2.3	73,405円	23.4%
うち調理食品	8,059円	2.4%	9,979円	3.1%	8位	23.8%	0.7	9,310円	3.0%
うち外食	13,542円	4.1%	15,258円	4.7%	8位	12.7%	0.6	15,003円	4.8%
住居	20,899円	6.3%	15,697円	4.9%	28位	-24.9%	-1.4	19,293円	6.1%
光熱・水道	21,276円	6.4%	21,028円	6.5%	20位	-1.2%	0.1	20,564円	6.6%
うち電気代	9,588円	2.9%	10,139円	3.1%	23位	5.7%	0.2	9,883円	3.1%
家具・家事用品	8,960円	2.7%	10,260円	3.2%	19位	14.5%	0.5	10,071円	3.2%
被服及び履物	13,358円	4.0%	12,424円	3.8%	22位	-7.0%	-0.2	13,237円	4.2%
保健医療	12,741円	3.8%	11,659円	3.6%	16位	-8.5%	-0.2	11,595円	3.7%
交通・通信	46,550円	14.1%	54,362円	16.8%	22位	16.8%	2.7	53,174円	16.9%
交通	3,668円	1.1%	3,678円	1.1%	39位	0.3%	0.0	7,948円	2.5%
自動車等関係費	27,122円	8.2%	32,728円	10.1%	17位	20.7%	1.9	27,758円	8.8%
通信	15,759円	4.8%	17,957円	5.6%	20位	13.9%	0.8	17,468円	5.6%
教育	17,949円	5.4%	15,825円	4.9%	23位	-11.8%	-0.5	19,970円	6.4%
教養娯楽	33,081円	10.0%	28,064円	8.7%	20位	-15.2%	-1.3	29,345円	9.4%
その他の消費支出	83,218円	25.1%	74,866円	23.2%	4位	-10.0%	-1.9	63,095円	20.1%
うち交際費	23,476円	7.1%	22,504円	7.0%	2位	-4.1%	-0.1	16,556円	5.3%

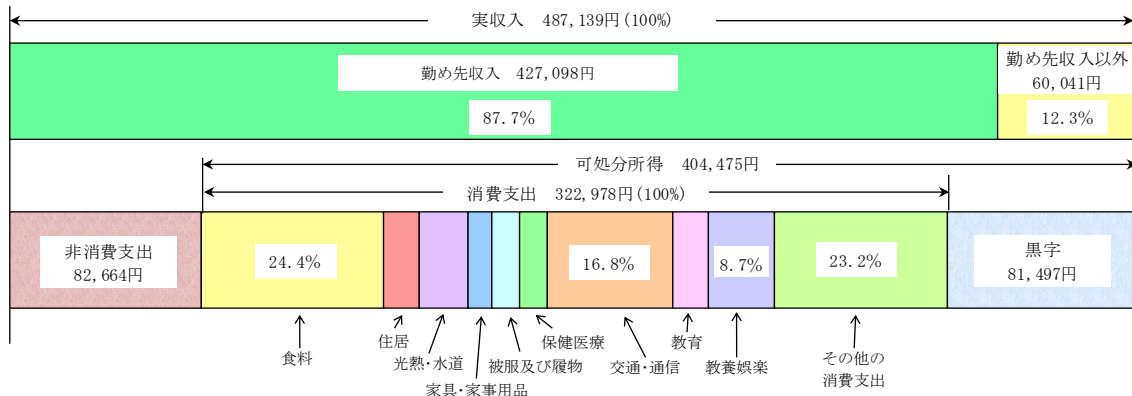
※1 「事業・内職収入」、「本業以外の勤め先・事業・内職収入」、「他の経常収入」、「特別収入」

※2 税金、社会保険料などの世帯の自由にない支出

※3 「実収入」から「非消費支出」を差し引いた額

注 厚生年金などの公的年金は偶数月に2か月分が給付される。全国消費実態調査の調査期間(9月~11月)中には10月に1回(2か月分)となるので、単純に集計すると3か月分の平均とはならない。そこで、平成26年調査の結果集計においては集計方法を見直したため、収入に関する平成21年の調査結果は空欄となっている。

図 I - 3 家計収支の構成（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

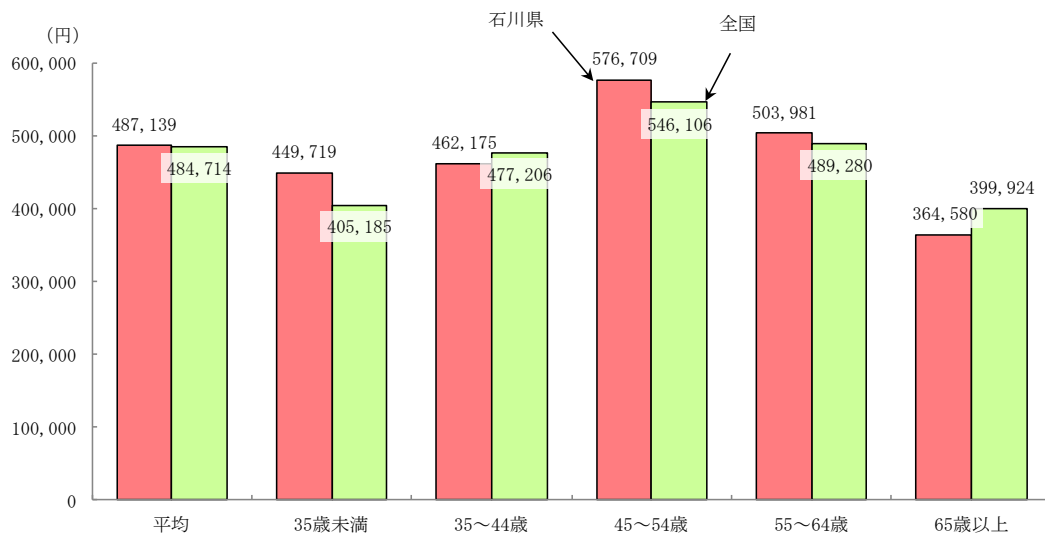


(2) 世帯主の年齢階級

実収入が最も多いのは、世帯主が45～54歳の世帯

- ・二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり1か月平均実収入を世帯主の年齢階級別にみると、世帯主が45～54歳の世帯が576,709円と最も多くなっている(図I-4参照)。

図 I - 4 世帯主の年齢階級別実収入（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



3 購入行動の形態別にみた支出

(1) 品目別にみた特徴

増加率が高い主な品目は、「祭具・墓石」、「外国パック旅行費」、「かばん類」

- ・二人以上の世帯の品目別支出を平成21年と比較すると、増加率は「祭具・墓石」が1,017.0%と最も高く、次いで「外国パック旅行費」(107.4%)、「かばん類」(82.4%)、「自動車等部品」(55.6%)などとなっている。
- ・減少率は「世帯主のこづかい」が-33.7%と最も高く、次いで「国内遊学仕送り」(-28.6%)、住宅、庭に関する「修繕・維持工事費」(-24.2%)、「プロパンガス」(-21.5%)などとなっている(表I-3参照)。

表 I - 3 主な品目別支出の増減率(二人以上の世帯)

増加率が高い品目		減少率が高い品目	
品目	増減率	品目	増減率
祭具・墓石	1,017.0%	世帯主のこづかい	-33.7%
外国パック旅行費	107.4%	国内遊学仕送り金	-28.6%
かばん類	82.4%	修繕・維持工事費	-24.2%
自動車等部品	55.6%	プロパンガス	-21.5%
飲酒代	54.4%	牛乳	-17.4%
自動車整備費	48.1%	米	-14.4%
家賃	41.6%	ビール	-13.6%
たばこ	34.9%	すし(弁当)	-13.4%
歯科診療代	34.3%	新聞	-10.5%
鉄道運賃	30.7%	固定電話通信料	-10.3%

注 平成26年の1か月平均消費支出が、1,000円以上の品目を対象とした。

※ 「修繕・維持工事費」は、住宅、庭に関するものをいう。

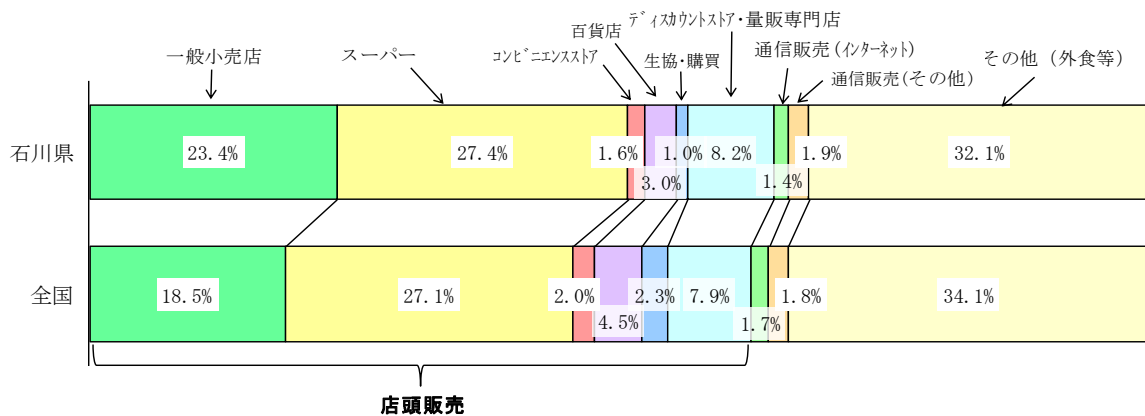
(2) 購入先

購入先で割合が最も高いのは、「スーパー」

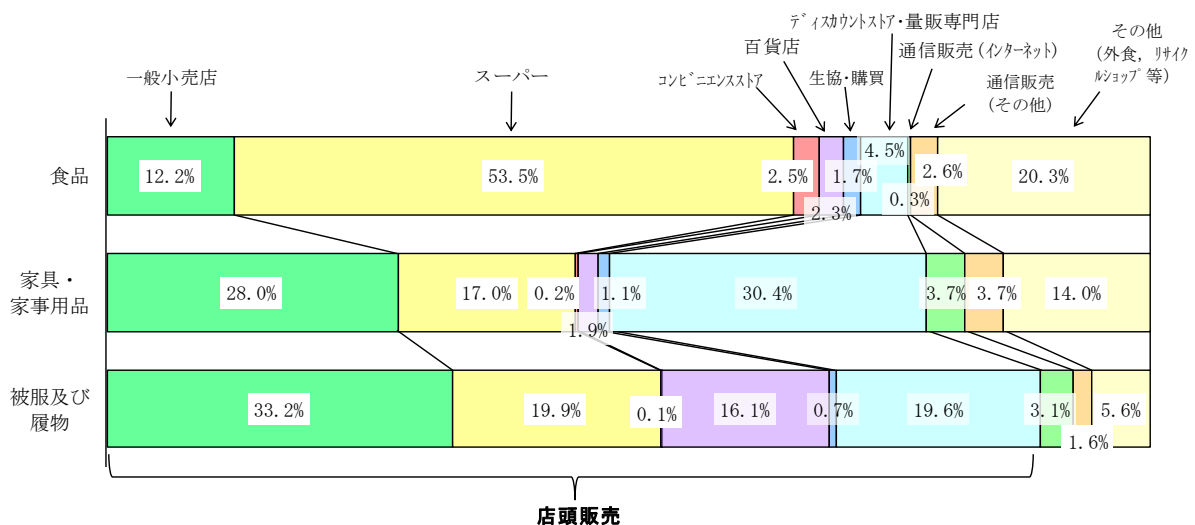
- ・二人以上の世帯の購入先別割合をみると、「スーパー」などの店頭販売が64.6%、通信販売が3.3%、「その他」^(注)が32.1%となっている（図I-5参照）。
- ・費目別に購入先別割合をみると、「食品」では「スーパー」(53.5%)、「家具・家事用品」では「ディスカウントストア・量販専門店」(30.4%)、「被服及び履物」では「一般小売店」(33.2%)の割合が最も高くなっている（図I-6参照）。

注 「その他」には、店頭販売、通信販売以外の店、例えば、美容院、クリーニング店、問屋、市場、露店、行商及びリサイクルショップなどをいう。また、飲食店（レストラン、ファーストフード、居酒屋等）や自動販売機もここに含める。

図I-5 購入先別割合（二人以上の世帯）



図I-6 費目別購入先別割合（二人以上の世帯）



貯蓄・負債に関する結果

4 貯蓄

(1) 概況

貯蓄現在高は前回と比較して、2.1%の増加

- ・二人以上の世帯の平成26年11月末日現在の貯蓄現在高は1世帯当たり1615万円で、平成21年と比較すると2.1%の増加となっている。
- ・貯蓄現在高は、全国平均(1565万円)を上回り全国19位となっている(表I-4参照)。

表 I - 4 貯蓄現在高及び年間収入(二人以上の世帯)

項 目		貯蓄現在高 (1)	年間収入 (2)	増 減 率		貯蓄年収比 (1)/(2)
				貯蓄現在高	年間収入	
石川県	平成21年	15,826千円	6,875千円	-0.9%	-8.3%	230.2%
	26年	16,152千円	6,748千円	2.1%	-1.8%	239.4%
全国	21年	15,208千円	6,563千円	-2.2%	-6.3%	231.7%
	26年	15,646千円	6,391千円	2.9%	-2.6%	244.8%

注1 各年11月末日現在

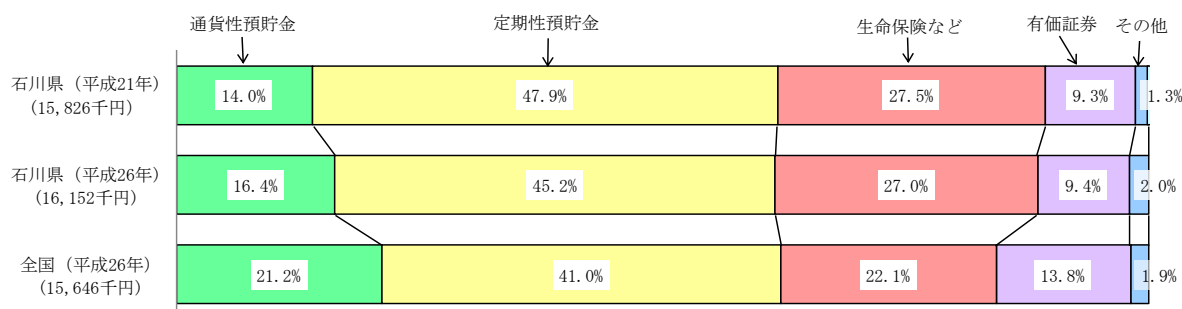
注2 貯蓄を保有していない世帯を含む平均

(2) 貯蓄の種類

「通貨性預貯金」及び「有価証券」の割合が上昇

- ・二人以上の世帯の貯蓄現在高の構成比を貯蓄の種類別にみると、「定期性預貯金」が45.2%と最も高く、次いで「生命保険など」が27.0%などとなっている。
- ・平成21年と比較すると、「通貨性預貯金」及び「有価証券」の割合が上昇し、「定期性預貯金」及び「生命保険など」の割合が低下している(図I-7参照)。

図 I - 7 貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比(二人以上の世帯)



注 貯蓄を保有していない世帯を含む平均

(3) 世帯主の年齢階級

貯蓄現在高が最も多いのは、世帯主が60歳以上の世帯

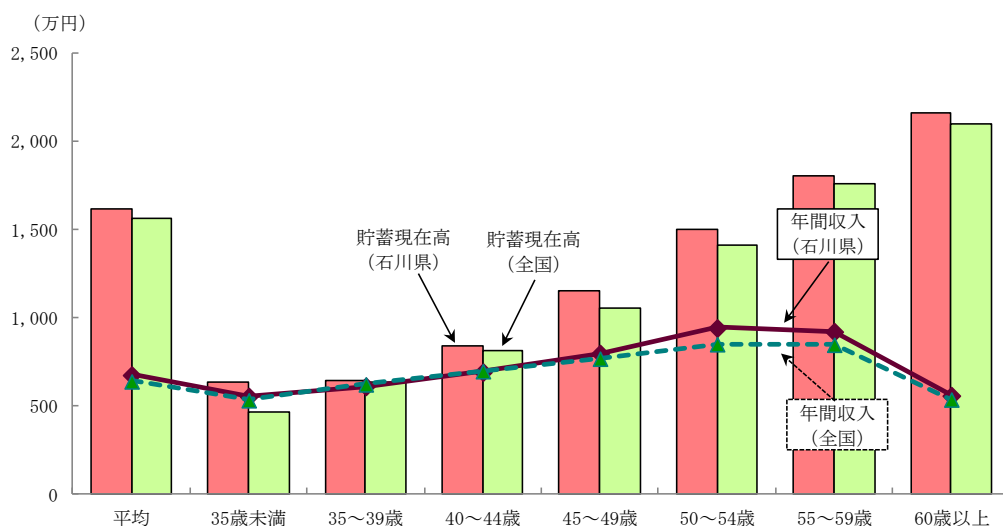
- ・二人以上の世帯の1世帯当たり貯蓄現在高を世帯主の年齢階級別にみると、35歳未満が638万円で最も少なく、60歳以上が2158万円で最も多くなっており、年齢階級が高くなるに従って多くなっている（表I-5、図I-8参照）。

表I-5 世帯主の年齢階級別貯蓄現在高及び年間収入（二人以上の世帯）

(単位：万円)

		平均	35歳未満	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
石川県	貯蓄現在高	1,615	638	639	838	1,154	1,498	1,801	2,158
	年間収入	675	553	611	692	797	942	921	558
全国	貯蓄現在高	1,565	466	638	815	1,053	1,414	1,759	2,103
	年間収入	639	532	622	697	768	850	847	536

図I-8 世帯主の年齢階級別貯蓄現在高及び年間収入（二人以上の世帯）



5 負債

(1) 概況

負債現在高は前回と比較して、12.3%の減少

- ・二人以上の世帯の平成26年11月末日現在の負債現在高は1世帯当たり430万円で、平成21年と比較すると12.3%の減少となっている。負債現在高のうち「住宅・土地のための負債」は362万円となっており、負債現在高の84.1%を占めている。
- ・負債現在高は、全国平均(533万円)を下回り、全国27位となっており、負債保有率(負債を保有している世帯の割合)も全国平均(41.8%)を下回り、全国33位となっている。
- ・「住宅・土地のための負債保有率」(「住宅・土地のための負債」を保有している世帯の割合)は27.8%となっており、平成21年と比較すると4.4ポイント低下している(表I-6参照)。

表 I - 6 負債現在高及び負債保有率(二人以上の世帯)

		負債現在高		うち住宅・土地のための負債		負債現在高に占める住宅・土地のための負担割合 (b)/(a)	負債保有率 ※	うち住宅・土地のための負債保有率
		(a)	増減率	(b)	増減率			
石川県	平成21年	4,905千円	-8.7%	4,262千円	-9.3%	86.9%	45.8%	32.2%
	26年	4,303千円	-12.3%	3,618千円	-15.1%	84.1%	40.0%	27.8%
全 国	21年	5,433千円	-7.0%	4,634千円	-8.1%	85.3%	44.9%	30.2%
	26年	5,333千円	-1.8%	4,585千円	-1.1%	86.0%	41.8%	28.4%

注1 各年11月末日現在

注2 負債を保有していない世帯を含む平均

(2) 世帯主の年齢階級

負債現在高が最も多いのは、世帯主が35～39歳の世帯

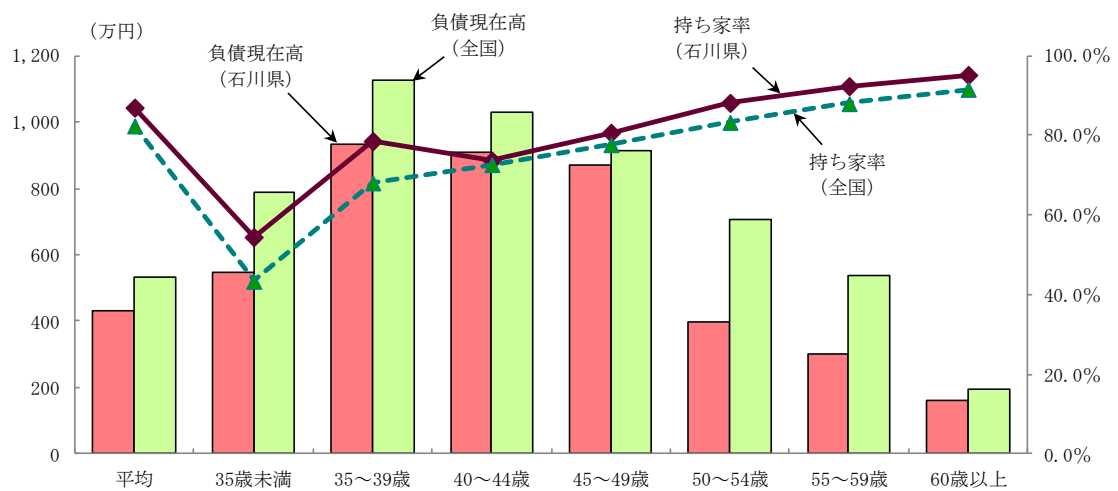
- ・二人以上の世帯の1世帯当たり負債現在高を世帯主の年齢階級別にみると、35～39歳代が最も多く、それ以降は年齢階級が高くなるに従って少なくなっている(表I-7, 図I-9参照)。

表 I - 7 世帯主の年齢階級別負債現在高及び持ち家率（二人以上の世帯）

(単位：万円)

		平均	35歳未満	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
石川県	負債現在高	430	549	931	907	870	397	303	162
	持ち家率	87.0%	54.5%	78.6%	73.7%	80.7%	88.2%	92.4%	95.2%
全 国	負債現在高	533	790	1,125	1,031	915	706	539	193
	持ち家率	82.4%	43.4%	68.1%	72.7%	77.7%	83.3%	88.0%	91.6%

図 I - 9 世帯主の年齢階級別負債現在高及び持ち家率（二人以上の世帯）



Ⅱ 単身世帯

< 単身世帯の1か月平均消費支出 >

1世帯当たりの消費支出は、前回（平成21年）に比べ6.7%の増加

- ・単身世帯の平成26年10月、11月の消費支出は、1世帯当たり1か月平均180,370円で、平成21年の169,027円と比べると、6.7%の増加となり、全国平均(169,545円)を上回っている。
- ・消費支出に占める費目別購入割合をみると、「食料」(23.7%)、交際費などの「その他の消費支出」(18.7%)、「交通・通信」(15.7%)が高くなっている(表Ⅱ、図Ⅱ参照)。

表Ⅱ 費目別消費支出（単身世帯）

項目	石川県						全国	
	平成21年		26年		増減率 上昇・低下幅		26年	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比 (ポイント)	金額	構成比
消費支出	169,027円	100.0%	180,370円	100.0%	6.7%	—	169,545円	100.0%
食料	36,149円	21.4%	42,705円	23.7%	18.1%	2.3	39,279円	23.2%
うち外食	9,501円	5.6%	11,837円	6.6%	24.6%	1.0	10,781円	6.4%
住居	24,534円	14.5%	23,367円	13.0%	-4.8%	-1.5	23,634円	13.9%
光熱・水道	11,565円	6.8%	11,394円	6.3%	-1.5%	-0.5	11,079円	6.5%
家具・家事用品	5,051円	3.0%	4,761円	2.6%	-5.7%	-0.4	5,488円	3.2%
被服及び履物	6,373円	3.8%	4,593円	2.5%	-27.9%	-1.3	7,336円	4.3%
保健医療	8,507円	5.0%	6,124円	3.4%	-28.0%	-1.6	6,920円	4.1%
交通・通信	20,912円	12.4%	28,281円	15.7%	35.2%	3.3	21,456円	12.7%
教養娯楽	25,793円	15.3%	25,417円	14.1%	-1.5%	-1.2	21,072円	12.4%
その他の消費支出	30,142円	17.8%	33,728円	18.7%	11.9%	0.9	33,189円	19.6%
うち交際費	13,347円	7.9%	12,256円	6.8%	-8.2%	-1.1	15,663円	9.2%

注 1か月平均の支出が1,000円以上の費目を対象としたため、「教育」は掲載していない。

図Ⅱ 費目別消費支出の割合（単身世帯）

